

連合「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」

5. 27全国統一集会 キャンペーン第3弾

退職者連合 109名 JR総連OB連絡会4名（貨物2名）が参加しました。

連合は、5月27日（水）18時30分から都内・文京シビックホールにおいて「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」集会が開催されました。

集会には、1,715名が参加、退職者連合も109名が参加しました。

そして、昨年末から労働者派遣法改悪法案、残業代ゼロ・過労死促進法案など労働法制の改悪阻止を掲げて「全国統一行動」としてインターネット中継でつながった全国の地方連合会、220ヶ所の地域協議会の労働者と共に連帯しました。

主催者挨拶で連合の古賀伸明会長は「安倍政権の強引な政治手法で安全保障、労働者派遣法など強引に進めようとして国民を軽視している。連合は、生涯派遣で低賃金につながる法案は廃案をめざしていく」と決意表明しました。



また連帯あいさつにおいて、民主党の枝野幸男幹事長は、衆議院特別委員会の27日からの安保法制問題の議論にふれ「昨日、今日と（委員会審議の）スイッチが入った。うそつき総理と内閣は吹っ飛ばさなければいけない。この内閣は意図的に（解釈改憲を）進めようとしている」と批判しました。また労働者派遣法案に対しては「（安倍総理は）労働者派遣法は労働者のためになると堂々と言っている。その矛盾、うそを厳しく追求する」と訴えました。その後、連帯あいさつ、決意表明が有り、各地方で「全国統一行動」に取り組んできた各地方ブロック代表のショートメッセージが放映されました。